

令和6年度 学校経営方針 (R6.4.1 改訂)

学校教育目標

「より良い未来を創る人」の育成

重点目標

「社会で生きる力の育成」

<p>自分で考え、判断し、 行動する (力)</p> <p>自律</p> 	<p>考え方の違いを乗り越え、 目的や目標の達成に向け て、協力して取り組む (力)</p> <p>協働</p> 
--	---

目標達成に向けた基盤となる人間性の育成

主体的に取り組む姿勢

生徒に向けた言葉
「自分事として
取り組む」

当事者意識を持って学校生活を送り、積極的に課題発見・解決を図ることにより良い状態を目指そうとする。

寛容な心で接する態度

生徒に向けた言葉
「広い心で接する」

自他を大切に、広い心で相手を受け入れたり、許したりすることで、良い関係を構築するようにする。

多様性を認める心

生徒に向けた言葉
「違いを認める」

考えや意見、立場の違いを認め、対話を通して理解することで、個を生かし、新たな創造につなげようとする。

目指す学校像・生徒像

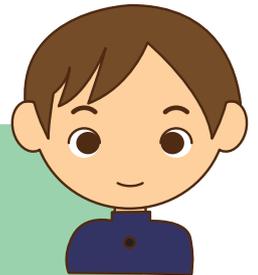
教師が目指す

- (1) 安心。 . . . 一人ひとりが輝く学校
- (2) 主体的。 . . . 互いを認め合い、高め合う生徒



生徒が目指す

- (1) 一人一人が作り上げる生徒主体の学校
- (2) 個性を認め、長所にできる学校
- (3) 未来に向け向上心を持ち、常に成長できる学校
- (4) 自主、自立のできる生徒
- (5) 主体的に物事に取り組むことのできる生徒



保護者が願う

- (1) 生徒理解に努め、生徒と教師の信頼関係が強い学校
- (2) 夢や希望に向かって、今しかできないことに注力する生徒



重点的取り組み

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善により、学力（知識・理解、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度）向上を図る。
- (2) 探究的な学習を通して、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する。その際、タブレット端末等、ICT 機器を効果的に活用する。
- (3) 部活動や委員会活動、行事等の活動に主体的に取り組むことを通して、粘り強さや責任感、自己肯定感、自己有用感、リーダーシップ、チームワーク、思いやり等の人間性を高める。
- (4) 体験活動を重視し、勤労観・職業観を育むキャリア教育を推進する。
- (5) 自己決定の機会や共感的雰囲気大切に、信頼関係を基盤にした生徒指導を行う。
- (6) 全教育活動を通して命の大切さや多様性の尊重を伝えると共に、道徳的実践力の育成と豊かな人間関係づくりを推進する。
- (7) 特別支援教育の推進、教育相談の実施、長欠（不登校）生徒への対応強化を図る。
- (8) 家庭や地域社会と連携・協力し、安全で安心な信頼される学校づくりを推進する。
- (9) 学校の働き方改革や新しい部活動の在り方を通して、職員及び生徒の心身の健康を大切にする。
- (10) 感染症対策を含めた健康と安全に関する教育の成果としての実践力を高める。